

# あいち農産物生産流通レポート

令和元年6月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ もも優良品種「さくひめ」の品種特性と高品質生産技術 (農業総合試験場)	1
◎ 地域トピックス	
・ ほうれんそう産地戦略実証協議会の取組について (新城設楽農林水産事務所)	3
◎ 東日本情報	
・ JR東日本の仕掛ける海外展開インフラ整備 (東京事務所)	4
◎ フラワーページ	
・ かがり弁ぎくのブランド化への取組について (園芸農産課)	6
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の6月の見通し(県内市場)	20

※今月、「西日本情報」はありません。

## 内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】  
農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】  
全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」  
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>  
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農業物価指数】  
農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計調査」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】  
総務省統計局「小売物価統計調査」  
[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## もも優良品種「さくひめ」の品種特性と高品質生産技術

農業総合試験場

「さくひめ」は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門（以下「農研機構」という。）が育成し、2018年3月に品種登録されました。同品種は、6月下旬から収穫できる早生で、果実品質に優れており、生産者から注目を集めています。農業総合試験場では「さくひめ」の高品質生産技術を開発しましたので、品種特性と併せて紹介します。

### 1 「さくひめ」育成経緯

日本のももは、冬期に7.2℃以下の低温に1,000～1,200時間程度遭遇しないと春に生育しない特性があります。今後、温暖化が進行し冬の気温が高くなると、休眠覚醒に必要な低温時間の不足が予測されることから、農研機構は低温要求時間が短い海外のもも品種を利用して、早生品種の育成に取り組みました。

「さくひめ」は、ブラジルから導入された低温要求時間の短い品種「Coral」と、日本の果実品質に優れた早生品種「ちよひめ」等の交配により育成されました。

### 2 愛知県での試作結果

2010年に「おはつもも」を台木として接ぎ木した「さくひめ」と「日川白鳳」を比較しました。「さくひめ」の樹勢は強く、花芽の着生も良好で、生理落果は少なく結実も良好でした。開花盛期は3月27日で「日川白鳳」より10日程度早く、収穫盛期は7月3日で「日川白鳳」より4日早くなりました。

糖度及び酸度は、「日川白鳳」と同程度で食味は良好、果実重が約230gで、果肉色は白色でした（表1）。着色割合（果実表面で紅く着色した部分の割合）は、「日川白鳳」と比較して少ない状況でした。

また、1樹当たり収量は「日川白鳳」より多く推移しました（図1）。

表1 「さくひめ」の生育特性と果実特性

品種	樹勢	花芽の着生	開花盛期	生理落果	収穫期			果実重 (g)	糖度 (brix%)	酸度 (pH)	核割れ
					始期	盛期	終期				
さくひめ	強	多	3/27	少	6/25	6/29	7/2	229	13.0	4.3	小
日川白鳳	中	多	4/6	少	6/29	7/3	7/6	209	12.9	4.2	中

（注）農業総合試験場（愛知県長久手市）、2013～2015年の3か年平均値、無袋栽培



「さくひめ」の果実（2016年6月撮影）

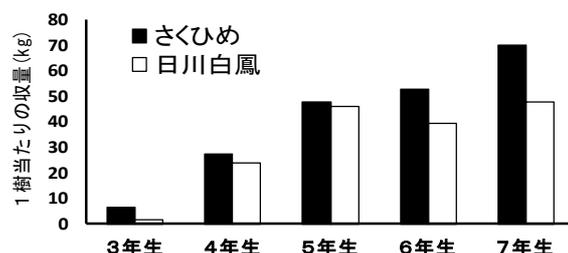


図1 1樹当たりの収量の推移（2012～2016年）

## 2 高品質生産技術

### (1) 着色向上対策

「さくひめ」の特性として、着色割合が少ないことが挙げられます。

愛知県内には、紅く着色するもも品種を求める産地があるため、こうした産地への普及を考慮し、着色を向上させる技術を開発しました。

6月上旬から光反射シートを樹の下に設置することにより、着色割合が高まります。

さらに5月上旬に遮光用袋が備わった2重袋をかけ、6月上旬に遮光用袋を外すことで果皮の紅色を濃くすることができます(図2)。

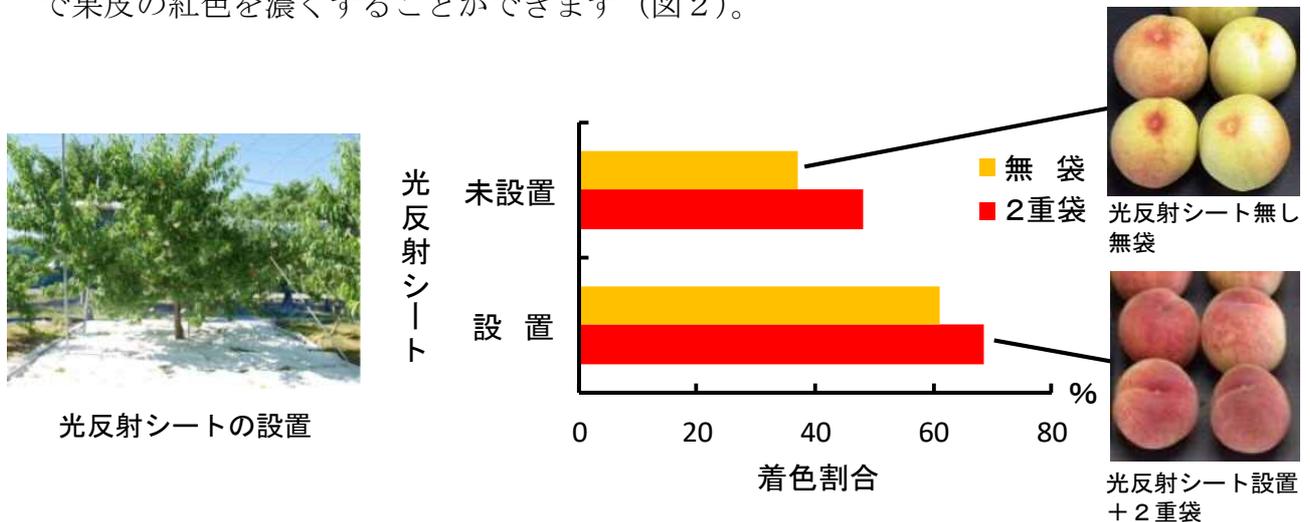


図2 光反射シートと2重袋の有無が「さくひめ」の着色割合に及ぼす影響 (2016~2018年平均)

### (2) 果点及び裂果の発生軽減技術

「さくひめ」は年によって果皮に果点(白点)が発生し、発生程度が激しい場合には裂果を伴うこともあります。そこで2重袋による発生軽減技術を確立しました。

着色向上効果のある2重袋を5月上旬にかけることで、果点と裂果の発生が軽減します(表2)。



果皮表面に発生した果点

表2 2重袋が果点及び裂果の発生に及ぼす影響 (2018年)

区分	果点の発生程度指数	裂果率 (%)
2重袋区	27.5	0.0
無袋区	66.3	3.1

## 3 おわりに

導入するにあたっての注意点として、「さくひめ」は開花期が早く、晩霜害を受けるリスクが他の品種より高いと考えられるため、できるだけ晩霜害のないほ場を選ぶ必要があります。

本技術により、紅く着色するもも品種を求める産地でも「さくひめ」の導入が可能となり、普及が期待されます。

## ほうれんそう産地戦略実証協議会の取組について

新城設楽農林水産事務所

### 1 産地の概要

新城市作手地区では、夏でも冷涼な標高 500mの気候を生かして「ほうれんそう」を周年栽培することで、新たな特産品とする取組が行われています。現在は農家数3戸で114a栽培し、年間約59t（平成29年実績）を出荷しています。

### 2 協議会の取組

ほうれんそう産地の拡大に向け、平成28年度に「新城設楽地域ほうれんそう産地戦略」が策定され、JA愛知東、新城市、農家等で構成される「ほうれんそう産地戦略実証協議会」（以下「協議会」という。）が設置されました（表1）。

協議会では、県の農業生産力パワーアッププロジェクト推進事業を活用して、個々の農家の経営規模を拡大するための作業の省力化や、販路拡大を目的とした産地の知名度向上の取組を行いました。

作業の省力化では、総労働時間の4割を占める収穫作業に注目し、自走式収穫機の導入実証試験を実施しました。実証試験では、季節や圃場、作業方法について条件を変えて検討を行い、作業時間の低減が可能であることを明らかにしました。

また、知名度向上に向けて産地PRリーフレットを作成し、販売店舗に設置したほか、試食会などを通じて消費者に直接配布しました。

表1 ほうれんそう産地戦略における目標

平成28年度			平成38年度（10年後の目標）		
農家数 （戸）	栽培面積 （a）	販売額 （百万円）	農家数 （戸）	栽培面積 （a）	販売額 （百万円）
3	93	28	10	555	227

### 3 今後の展開

今後は、収穫以外の作業についても作業時間や手順を精査し、さらなる省力化を進めることで経営規模の拡大を目指します。

また、品質を認知していただき、高級ホテル及びレストランなどの外食産業や青果物を高値販売する店舗への出荷数量を増加させる取組を実施していきます。



検討した自走式収穫機



実証試験の様子

## JR東日本の仕掛ける海外展開インフラ整備

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

5月20、21日の両日、東京都庁第二本庁舎ホールにおいて、一般財団法人自治体国際化協会シンガポール事務所と東京都の共催による「2019海外経済セミナー」が開催されました。「東南アジアにおける自治体の海外展開の方策について」を演題に、東南アジアを拠点に活動する海外と国内の5つの企業の代表、担当者が講演を行いました。その中から、シンガポールで「日本と海外をつなぐビジネスインフラ・プラットフォーム」を整備するJR東日本の取組について紹介します。

### 1 日本好きのたまり場

JR東日本は、シンガポールに気軽なカフェスタイルによる「常設でアクセスしやすい“日本好きのたまり場”」というコンセプトのもと「JAPAN RAIL CAFE」を設置しました。日本に興味を持つ人、これから日本旅行を計画する人、そして日本への興味・好奇心を共有できるコミュニティを求める人々が集うことができます。

カフェでは、日本の食材を使った飲食を楽しむことができ、気に入った地域産品を物販コーナーで購入することもできます。また、コミュニティ内の情報交換を含め、旅行計画の相談やアドバイスが受けられ、併設する旅行カウンターでは鉄道パスの手配もできるなど、「そこに行けば全てが揃う」ワンストップ型サービスが利用できます。

### 2 プラットフォームを活用した情報発信

「JAPAN RAIL CAFE」は、日本好きが集まる「情報集積・発信のプラットフォーム」としての役割を担っており、地域産品や農畜産物などの海外展開、観光誘致を目指す日本の自治体や企業の活動を後押ししています（図1）。



図1 カフェのプラットフォームとしての機能（講演資料より抜粋）

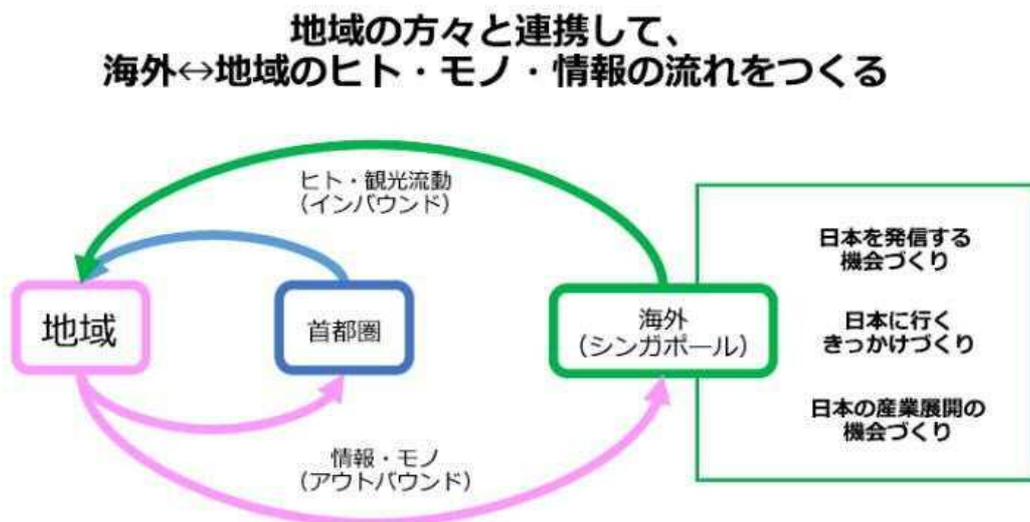
自治体や企業にとっては、「JAPAN RAIL CAFE」を活用することで、効果的な情報発信やテストマーケティング等ができるとともに、現地の顧客との継続的な接触やコミュニティからの新たなニーズの把握も可能となります。

### 3 効果的なヒト・モノ・情報の流れをつくる

JR東日本は「地域活性化」と「グローバル化」をキーワードとしたインフラを整備し、新たに「効果的なヒト・モノ・情報の流れをつくる」ことを目指しています。今回のシンガポールでの取組は、首都圏と地域を繋ぎ地域活性化を目指したこれまでの活動のグローバル版と位置づけています（図2）。

また、今後の取組として、日本の自治体や企業の本格的な海外展開を後押しし、企業向けの交流プラットフォームとなるコワーキングスペース「One&Co」の開設を予定しています。「One&Co」は、協働スペースであるオープンラウンジのほか、商談もできる個室スペース、試作・実演が可能なキッチンスペースなどが整備され、企業間のマッチング機会やコミュニティの創出を促していきます。

この「One&Co」は、自治体や企業の「コミュニティ」形成と、その活用による相乗効果により「効果的なヒト・モノ・情報の流れ」を作る重要な要素になると位置づけています。



- ・ J R 東 日 本：顧客接点、現地視点、受け皿となるプラットフォーム、の提供
- ・ 地域(自治体等)：魅力的なコンテンツ、情報・思い・意欲の共有

図2 JR東日本の事業の考え方（講演資料より抜粋）

今回の講演を聴き、JR東日本が提供するプラットフォームが、日本の自治体や企業が海外に向けて効果的な情報発信をしていくためには、プラットフォーム上で発信できる魅力的なコンテンツを用意する必要があると思われました。

また、国内においても、JR東日本の「JAPAN RAIL CAFE」を参考にして、アンテナショップに旅行手配や簡易な商談代行機能、地域からの情報発信機能を持たせるなど、「たまり場」的なサービスができると面白いかもしれません。

## かがり弁ぎくのブランド化への取組について

園芸農産課

愛知県は全国一の輪ぎく生産県です。しかしながら、近年は葬儀形態の変化により、輪ぎくの需要は減少傾向にあります。そこで、県では祝い事やフラワーアレンジメントなど新たな輪ぎくの需要開拓を目指して商品性の高い品種の開発に取り組み、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と共同で「かがり弁ぎく」を開発し、同品種のブランド化に向けたPRや供給の安定化などを進めています。

### 1 品種の特徴

かがり弁ぎくは、従来の輪ぎくの花びらの色や形を改良したもので、以下の特徴があります。

- 花びらの先に複数の突起がある「かがり弁」を持ちます。
- 白色、赤紫色、黄色の3色が揃っています。
- 花びらの形や色が美しくなる12月から3月までの出荷に適しています。
- 日持ちは従来の輪ぎく品種と同程度で、冬季は2週間以上の観賞が可能です。



かがり弁ぎく

### 2 ジャパンフラワーセレクションの受賞

平成30年11月に、花の新品種を評価し、優れた品種を消費者に推奨する「ジャパンフラワーセレクション」において、「かがり弁白」が2018-2019切花部門の「ベスト・フラワー（優秀賞）」を受賞しました。併せて、育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種に贈られる「ブリーディング特別賞」と、斬新で優れた形状をもつ品種に贈られる「ニュースタイル特別賞」を同時受賞しました。

### 3 生産・流通体制の強化

平成31年2月に愛知県花き温室園芸組合連合会きく部会が中心となり、流通から小売までの関係者による「かがり弁研究会」を立ち上げました。今後、生産・流通量の安定化に向けた取組を進めていきます。

### 4 ブランド化に向けたプロモーションの強化

県内外の花き展示イベントなどで「かがり弁ぎく」のアレンジメント展示などの新たな使い方を提案しています。東京都豊島区で開催された第68回関東東海花の展覧会(平成31年2月1日～3日)では、ジャパンフラワーセレクション受賞PRと展示を行い、会場内で105名にアンケートを取ったところ、90%が「インパクトがあり」「魅力的」など好印象でした。また、「かわいらしい」や「華やか」といった感想を多くいただき、新たな需要の開拓につながる手応えを感じました。

今後も継続して、新たな需要につなげるよう「かがり弁ぎく」のブランド化と需要拡大に向け、花き関係団体等と連携してプロモーションに取り組みます。



かがり弁のPRの様子

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
30年実績	270	251 (93%)	3,087	3,104	大分 ( 3 %) 高知 ( 2 %) 茨城 ( 1 %)
元年見通し	290	—	2,900	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>厳寒期から切れ間のない順調な入荷が続 き潤沢な数量があることから、価格はこ こまで安値推移している。5月はGWの需要 から一時的に価格が上向いたが、その後は 再び下降傾向にある。今後も潤沢な入荷と 平年以下の安値が予想され、品質の問題は 少ないものの、需要に対して入荷量が多い ことが価格低迷の原因となっている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前 年をかなり下回る見込み。</p>			<p>主要産地である愛知は栽培面積が増加して いるとともに、作付体系の改善により入荷量 に大きな山谷がなくなりつつある。 一方で、入荷増に対して消費が少ないこと による価格低迷も懸念されるため、行政等 と連携した一般消費者向けへの消費拡大PR 活動を進めていくことを提案したい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
30年実績	3,012	326 (11%)	993	1,129	佐賀 (72%) 愛知 (11%) 大分 ( 4%)
元年見通し	3,000	—	1,000	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>前年は冬期の低温やそれに伴う着色不良 等で5月の入荷量は少なかったが、今年 は各産地とも順調に入荷されている。主産 地の佐賀は、6月下旬にかけて「上野早生」 から「宮川早生」に品種が切り替わる時期 となり一度入荷が落ち込むが、7月は前年 をやや上回る入荷を見込む。他産地も需要 期である7~8月に向かって順調に数量を 増やすか。各産地ともにサイズはS中心の 見込みで、品質も安定している。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>			<p>品質的に安定しているハウスみかんは、 底堅い需要がある。盆時期を始め、5月か ら8月にかけてのギフト・お祝い品とし ての引き合いも強い。 なかでも愛知産は、他産地よりも良食味 で品質も安定しており、果物専門店や量販 店などの信頼が高い。反面評価も厳しいの で、出荷にあたってはこれまで以上に浮皮 や着色などに注意して選果してほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	31,518	220	217	213	223	愛知 20%
	27年	32,650	251	252	256	242	長野 17%
	28年	30,484	256	261	262	239	茨城 10%
	29年	31,384	243	235	243	239	長崎 6%
	30年	32,350	222	221	213	220	兵庫 6%
	5ヵ年平均	31,677	238	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	30,600	237	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、長野、茨城などから入荷する。5月前半は湯水が目立ったが、平年並の入荷を予想する品目が多い。高冷地等の夏秋作が始まる時期となり、一部品目で生育遅れが懸念されるものの、生育は概ね順調。入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	26年	1,666	83	82	83	91	青森 52%
	27年	1,829	78	67	85	90	北海道 18%
	28年	1,562	96	86	105	103	愛知 17%
	29年	1,392	110	88	134	117	岐阜 5%
	30年	1,410	101	103	109	100	鹿児島 2%
	5ヵ年平均	1,572	92	84	102	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,400	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森を中心に愛知、北海道などから入荷する。青森は例年よりも播種が早く、5月中旬から増量していくが、6月は概ね前年並の入荷となるか。愛知の残量は前年より多い見込みだが、気温上昇に伴う品質低下も懸念される。入荷量と価格はともに前年並を見込む。							
にんじん	26年	1,275	128	117	133	145	岐阜 53%
	27年	1,339	196	193	217	177	徳島 15%
	28年	1,447	151	145	167	148	兵庫 11%
	29年	1,349	143	138	146	148	青森 7%
	30年	1,771	99	89	103	109	愛知 4%
	5ヵ年平均	1,436	141	134	151	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,400	133	120	130	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
岐阜を中心に、徳島、青森などから入荷する。岐阜は前年太物が多かったが、今年は平年並の肥大状況。上中旬にピークを迎え、下旬には減少する。徳島は前年残量が多かったが、今年は平年より少ない。入荷量は前年を大幅に下回るが平年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	26年	128,251	234	221	237	246	千葉 15%	
	27年	131,719	262	252	268	266	茨城 15%	
	28年	126,267	259	268	280	259	長野 11%	
	29年	130,803	258	247	270	258	群馬 9%	
	30年	129,986	235	228	232	243	青森 5%	
	5ヵ年平均	129,405	250	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	129,500	240	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>主要品目の中心産地は西南暖地から関東以北の高冷地・東北・北海道に移行する。これまでの干ばつで一部産地・品目に生育遅れが懸念されるも、概ね平年並の入荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
	だいこん	26年	8,241	79	73	77	87	青森 58%
27年		8,504	82	68	88	91	北海道 21%	
28年		7,878	93	82	106	102	千葉 13%	
29年		8,071	109	81	143	112	栃木 3%	
30年		7,110	101	100	108	95	茨城 2%	
5ヵ年平均		7,961	92	80	104	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
元年見通し		8,000	100	110	100	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>関東は前進傾向で切り上がり及早まり、後続の青森、北海道は遅れが出るも回復に向かう。月の初めに端境となれば相場は上がり、後続産地の入荷がまとまる中旬以降は下げに転ずる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は平年を上回るも前年並となる見込み。</p>								
にんじん		26年	6,678	132	143	133	122	千葉 82%
	27年	7,103	170	191	182	143	茨城 6%	
	28年	7,490	131	136	136	121	埼玉 5%	
	29年	6,941	142	144	143	139	青森 3%	
	30年	6,867	102	103	98	105	徳島 2%	
	5ヵ年平均	7,016	136	144	139	126	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	6,800	110	110	110	110		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>千葉を中心に埼玉、茨城からの入荷となる。冬の少雨により遅れていた生育は気温の上昇とともに平年並に回復。入荷量は確保されるも生育のバラツキは残ると見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
はんぱい	26年	1,417	84	74	82	102	長野	87%
	27年	1,540	118	130	134	98	茨城	11%
	28年	1,663	76	94	96	57	山梨	1%
	29年	1,614	87	75	99	91		
	30年	1,714	83	81	83	85		
	5ヵ年平均	1,590	89	91	99	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	1,600	80	80	80	80		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				数量 単価 円/Kg			
	長野を中心に茨城からも入荷する。茨城は前進出荷したため、残量は平年より少ない。長野はやや遅れた入荷で、価格は堅調に推移する見込み。販売は1/4カットでの売り方が主流となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
	キヤベツ	26年	3,800	80	69	74	96	茨城
27年		4,236	87	95	85	84	愛知	25%
28年		3,529	108	106	122	100	長野	8%
29年		3,658	88	83	88	94	群馬	7%
30年		3,704	90	75	100	97	秋田	2%
5ヵ年平均		3,785	90	86	93	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
元年見通し		3,700	85	80	85	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				数量 単価 円/Kg				
茨城、愛知を中心に長野、群馬などからも入荷する。愛知は上旬まで、茨城は下旬までの入荷となり、ともに前年に近い数量を見込む。長野と群馬は順調な生育状況で、今後の増量が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。								
ほうれんそう		26年	203	565	484	543	690	岐阜
	27年	261	589	574	593	599	茨城	16%
	28年	248	619	624	618	615	長野	4%
	29年	245	642	626	712	615	愛知	4%
	30年	274	575	543	561	629	静岡	1%
	5ヵ年平均	246	599	573	606	627	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	250	600	650	550	600		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				数量 単価 円/Kg			
	岐阜を中心に茨城などからも入荷する。岐阜は前年並の入荷量を見込むが、上旬は谷間に入り数量減となるか。茨城は上旬まで数量があるが、その後は減少を見込む。愛知の中山間地の作況は問題ない。 入荷量は前年をかなり下回るが平年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
は く さ い	26年	5,397	79	59	76	99	長野 60%
	27年	5,681	111	96	135	95	群馬 20%
	28年	6,037	72	74	88	55	茨城 18%
	29年	6,292	72	47	83	85	山梨 2%
	30年	6,856	73	58	76	82	
	5ヵ年平均	6,053	81	66	91	83	
	元年見通し	6,900	70	70	70	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/kg</p> <p>20,000 t 200</p> <p>16,000 160</p> <p>12,000 120</p> <p>8,000 80</p> <p>4,000 40</p> <p>0 0</p> <p>7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 月</p>				
<p>終盤を迎える茨城は芯腐れや虫害が見られ量を減らす。後続の長野、群馬は生育が遅れており、上旬までは入荷が一時的に減る可能性もある。端境が予想される前半は高値となるも後半は値を崩すか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
キ ャ ベ ツ	26年	14,420	71	61	63	92	千葉 35%
	27年	16,267	79	76	75	87	茨城 29%
	28年	15,278	94	85	106	92	群馬 21%
	29年	15,325	78	74	76	85	神奈川 4%
	30年	15,878	80	61	85	92	愛知 3%
	5ヵ年平均	15,434	80	71	81	90	
	元年見通し	15,800	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/kg</p> <p>30,000 t 300</p> <p>25,000 250</p> <p>20,000 200</p> <p>15,000 150</p> <p>10,000 100</p> <p>5,000 50</p> <p>0 0</p> <p>7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 月</p>				
<p>千葉、茨城など関東主要産地から高冷地の群馬、長野への切り替わり時期となる。各産地とも生育は概ね順調。後続の群馬はやや小玉傾向となるも、前進化と関東産地の残量もあり入荷は潤沢。 入荷量は前年並となり、価格も前年及び平年並となる見込み。</p>							
ほ う れ ん そ う	26年	1,370	446	350	454	565	群馬 35%
	27年	1,434	492	508	473	501	茨城 26%
	28年	1,315	478	492	476	468	栃木 16%
	29年	1,311	490	493	532	446	岩手 9%
	30年	1,325	467	427	450	525	岐阜 5%
	5ヵ年平均	1,351	475	454	477	502	
	元年見通し	1,350	450	410	470	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>数量 単価 円/kg</p> <p>2,500 t 1,250</p> <p>2,000 1,000</p> <p>1,500 750</p> <p>1,000 500</p> <p>500 250</p> <p>0 0</p> <p>7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 月</p>				
<p>前年同様、連休明けの低温により生育遅れが懸念されたが、その後の高温で生育は回復しつつある。一部産地では病害虫の発生が確認されるものの、概ね生育は順調。中旬以降は梅雨の影響次第か。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

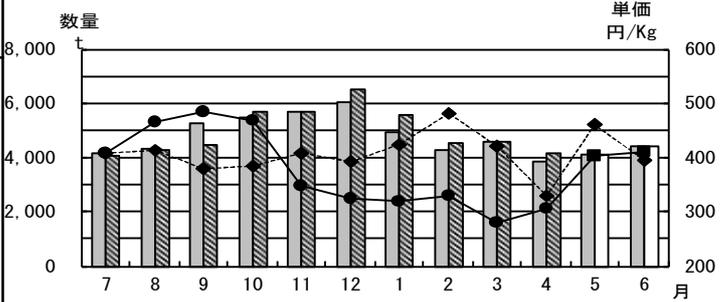
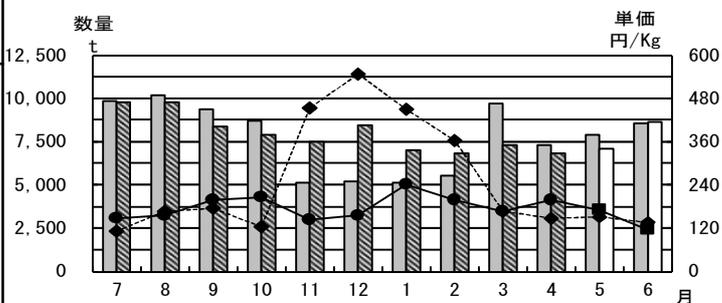
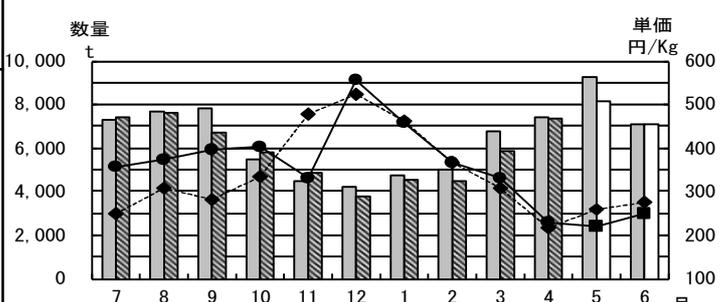
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	26年	676	401	398	410	愛知	22%	
	27年	654	471	489	472	大分	21%	
	28年	581	498	516	495	静岡	13%	
	29年	584	446	449	447	茨城	12%	
	30年	575	444	480	456	秋田	6%	
	5ヵ年平均	614	451	463	460	446	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	580	440	440	440			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、大分、茨城などから入荷する。愛知の普通ねぎの作柄は問題なく、前年より増量する見込み。白ねぎは大分、静岡などの夏ねぎが入荷するが、平年より少ない出回りが予想される。 入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>						
し	26年	2,155	144	150	154	長野	99%	
	27年	2,219	153	156	153	愛知	1%	
	28年	2,118	144	146	133			
	29年	2,201	136	151	120			
	30年	2,150	143	157	134			
	5ヵ年平均	2,169	144	160	147	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	2,000	145	155	145	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からほぼ全量を入荷する。前半は長野の準高冷地、後半は高冷地からの入荷が中心となる。現状は大玉傾向で順調な入荷を見込むが、5月前半の干ばつの影響による生育遅れなどが懸念される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
きゅう	26年	1,574	251	275	280	愛知	29%	
	27年	1,549	235	193	267	長野	23%	
	28年	1,396	275	276	261	群馬	13%	
	29年	1,593	247	236	261	高知	12%	
	30年	1,609	270	248	263	宮崎	10%	
	5ヵ年平均	1,544	255	233	264	277	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	1,500	265	250	260	290		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、群馬などの冬春作、長野などの夏秋作が入荷する。愛知の作柄は順調だが、天候次第では終了が前進するか。冬春作が終盤に入るため、価格は上昇する見込み。今後、入荷の中心となる長野は生育順調。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	4,371	397	403	420	365	茨城 58%
	27年	4,382	468	459	465	480	千葉 19%
	28年	4,184	494	512	488	482	埼玉 5%
	29年	4,222	447	423	451	470	中国 5%
	30年	4,433	395	388	401	397	福岡 3%
	5ヵ年平均	4,318	440	436	444	438	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	4,400	410	410	410	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主力となる茨城は干ばつで細さが心配されるも5月の好天により回復傾向にある。千葉も一部で乾燥による遅れ見られるが、生育は概ね順調。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p> 					
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>主力となる茨城は干ばつで細さが心配されるも5月の好天により回復傾向にある。千葉も一部で乾燥による遅れ見られるが、生育は概ね順調。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
し	26年	7,991	148	133	151	159	長野 73%
	27年	8,591	152	150	152	154	群馬 22%
	28年	8,988	142	180	139	119	岩手 3%
	29年	8,826	132	137	146	115	茨城 1%
	30年	8,527	135	143	123	137	千葉 1%
	5ヵ年平均	8,585	142	149	142	136	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,600	115	130	115	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主力産地の群馬、長野では乾燥の影響により生育に遅れが見られる。また干ばつで小玉気味だったが、5月の降雨により回復に向かう。長野の高冷地が本格化する中旬以降は潤沢な入荷となり単価も下がる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p> 					
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>主力産地の群馬、長野では乾燥の影響により生育に遅れが見られる。また干ばつで小玉気味だったが、5月の降雨により回復に向かう。長野の高冷地が本格化する中旬以降は潤沢な入荷となり単価も下がる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅう	26年	7,069	268	220	320	271	埼玉 26%
	27年	7,760	224	198	242	232	群馬 21%
	28年	7,324	267	255	250	302	福島 14%
	29年	7,569	257	250	282	239	千葉 9%
	30年	7,120	274	230	267	324	茨城 8%
	5ヵ年平均	7,368	257	230	272	273	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	7,100	250	230	270	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地から関東・東北各産地への切り替わり時期となる。各産地とも順調に生育しており随時入荷が始まる。今後、成り疲れや梅雨などの影響も懸念されるが、産地間リレーは問題なく進む見込み。 入荷量は前年並だが、価格は前年をかなり下回る見込み。</p> 					
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>西南暖地から関東・東北各産地への切り替わり時期となる。各産地とも順調に生育しており随時入荷が始まる。今後、成り疲れや梅雨などの影響も懸念されるが、産地間リレーは問題なく進む見込み。 入荷量は前年並だが、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	1,270	282	284	278	286	愛知 39%
	27年	1,148	347	353	355	352	熊本 26%
	28年	1,030	353	380	368	321	宮崎 23%
	29年	1,142	331	339	333	323	高知 5%
	30年	1,021	347	343	355	349	茨城 2%
	5ヵ年平均	1,122	330	338	335	325	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,100	330	330	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、熊本、宮崎を中心に入荷する。各産地ともに、梅雨の影響が少なければ潤沢な入荷を見込む。愛知は現在、下級品率がやや高めとなっており、今後の天候次第では下物の増加も懸念される。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ト マ ト	26年	1,923	208	204	188	251	愛知 34%
	27年	1,866	279	266	280	297	熊本 32%
	28年	1,525	297	284	311	299	三重 17%
	29年	1,700	272	254	252	312	岐阜 11%
	30年	1,723	226	203	209	265	北海道 2%
	5ヵ年平均	1,747	255	241	246	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	1,700	250	250	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、熊本を中心に三重、岐阜などから入荷する。愛知の作柄は順調で、6月まで潤沢な入荷が続く見通し。各産地とも生育良好で、後半は岐阜や北海道の夏秋作も入るが、順調な入荷が続く見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	26年	506	514	505	467	548	熊本 41%
	27年	495	594	592	583	612	愛知 37%
	28年	473	651	639	692	627	宮崎 9%
	29年	565	607	582	607	640	和歌山 5%
	30年	650	494	474	477	534	茨城 5%
	5ヵ年平均	538	568	553	560	590	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	550	550	500	550	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知を中心に北海道、和歌山などから入荷する。冬春作は順調な入荷が続いたため、樹勢が低下しており、入荷量は減少していく見込み。北海道などの夏秋作は7月から入荷が本格化する見通し。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
な	26年	4,787	347	327	356	高知	28%	
	27年	4,859	363	354	366	群馬	22%	
	28年	4,681	400	411	366	福岡	13%	
	29年	5,485	354	347	342	茨城	10%	
	30年	4,610	389	368	391	栃木	8%	
	5ヵ年平均	4,884	370	361	386	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	元年見通し	4,500	370	360	390			
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>高知、群馬、福岡などからの入荷が中心となる。先月までの順調な出荷の反動や終盤に伴う減少で、平年割れを見込む産地が重なり、切り替わり時に端境あるか。入荷減による一時的な価格押し上げも。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ト	26年	9,536	234	215	228	266	栃木	25%
	27年	9,608	292	276	299	308	熊本	18%
	28年	9,120	297	281	305	307	千葉	11%
	29年	8,788	306	272	299	356	茨城	10%
	30年	8,385	268	238	249	320	愛知	10%
	5ヵ年平均	9,087	279	256	276	310	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	8,600	270	250	280	280		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>西南暖地は終盤を迎え、関東産地を中心に東北、北海道へと切り替わる。それぞれ病害虫などが散見されるも各産地とも生育は概ね順調。4月末より続く安値基調を底打ち・反転させる材料がほしいところ。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
ニ	26年	2,106	439	439	427	452	熊本	31%
	27年	1,922	556	556	559	554	愛知	20%
	28年	1,837	599	583	636	579	千葉	12%
	29年	2,028	578	545	566	628	茨城	12%
	30年	2,187	469	434	444	533	静岡	6%
	5ヵ年平均	2,016	525	508	522	548	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	2,200	440	440	440	440		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>熊本、愛知、関東近郊からの入荷が中心となる。茨城は4月の低温で生育遅れるも5月の高温で回復し数量も出揃う。熊本、愛知は終盤に入り後半には量を減らすか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	26年	610	239	217	267	309	茨城 41%	
	27年	651	335	341	355	366	高知 31%	
	28年	605	329	315	346	351	宮崎 27%	
	29年	682	295	290	303	333	鹿児島 1%	
	30年	580	317	283	300	416		
	5ヵ年平均	626	303	290	315	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	570	310	280	300	350		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、高知、宮崎を中心に入荷する。各産地ともに順調で、概ね前年並の入荷を見込む。茨城は上中旬は潤沢だが、下旬からは減少する見通し。今後増量する北海道は順調なら下旬から始まる見通し。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
	ばれいしよ	26年	2,475	122	127	124	119	長崎 69%
		27年	2,697	223	213	211	253	静岡 15%
28年		2,224	213	231	216	199	熊本 5%	
29年		2,517	154	146	151	168	鹿児島 5%	
30年		2,663	72	97	72	55	北海道 4%	
5ヵ年平均		2,515	156	161	153	158	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
元年見通し		2,450	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に静岡、熊本などから入荷する。長崎と熊本はともに前進傾向で、中旬には入荷が落ち着く見通し。切り替わりで始まる静岡の生育状況は順調で、平年並の入荷を見込む。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
たまねぎ		26年	3,879	96	101	95	94	愛知 47%
		27年	3,831	115	121	129	96	兵庫 32%
	28年	4,132	115	125	107	130	北海道 19%	
	29年	4,527	90	97	90	83	熊本 1%	
	30年	4,815	75	84	73	79	岐阜 1%	
	5ヵ年平均	4,237	97	105	97	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	元年見通し	4,500	80	80	80	80		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に兵庫、北海道などから入荷する。愛知は生育良好で、5月前半は前年より増量した。6月の大きな増量はないが引き続き順調な入荷を見込む。兵庫も生育良好で、増量した前年並の入荷見込み。 入荷量は前年をかなり下回るが平年より多く、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	2,440	250	214	256	287	茨城 85%
	27年	2,499	334	343	349	306	高知 5%
	28年	2,408	347	342	347	351	宮崎 5%
	29年	2,610	339	324	341	355	岩手 3%
	30年	2,342	368	323	350	431	千葉 1%
	5ヵ年平均	2,460	327	309	329	345	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,400	350	310	370	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ茨城産が中心となる。西南暖地は最終盤となり量も多くない。主力の茨城は低温の影響で生育がやや不良。成り疲れも懸念される。全体的に潤沢とはいえず後半に価格が上がるか。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	26年	8,784	128	132	127	124	長崎 58%
	27年	8,138	239	221	237	272	静岡 11%
	28年	7,694	207	225	208	182	鹿児島 8%
	29年	9,043	148	149	146	148	茨城 7%
	30年	9,497	69	77	68	62	熊本 6%
	5ヵ年平均	8,631	154	157	153	154	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	8,600	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に静岡、鹿児島などからの入荷となる。長崎は5月中旬にはピークを迎え前進出荷するも、数量は多かった前年を下回る。他県産地も前年を上回ることはない見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値となった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	26年	10,705	110	107	104	118	佐賀 55%
	27年	10,087	130	125	129	138	兵庫 13%
	28年	8,342	146	143	149	148	香川 9%
	29年	10,441	101	104	99	99	北海道 5%
	30年	12,092	75	80	71	75	栃木 5%
	5ヵ年平均	10,333	110	109	107	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	11,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀、兵庫、香川からの入荷が中心となる。各産地とも生育は前進傾向となり肥大も良好。Lサイズ中心だが2Lも多い傾向で入荷量は多くなると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

※「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

5月17日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	8,640	354	355	358	350	愛知 22%
	27年	8,677	381	377	371	394	フィリピン 18%
	28年	7,626	416	409	417	416	熊本 14%
	29年	7,774	406	400	400	442	ニュージーランド 6%
	30年	7,209	429	399	434	473	青森 6%
	5カ年平均	7,985	395	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	6,900	420	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心に、ぶどうなどが増量していく。平年に比べると、やや前進傾向で前年並を見込む品目も多いが、ももは大幅に前進した前年より出荷開始が遅れるなど、全体の入荷量は少なくなるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						
その他メロン (アールスメロン以外)	26年	1,190	301	288	292	323	熊本 36%
	27年	1,233	307	358	304	271	愛知 25%
	28年	934	310	346	301	289	茨城 18%
	29年	872	323	360	313	311	メキシコ 15%
	30年	732	299	322	281	312	長崎 3%
	5カ年平均	992	308	334	299	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	700	300	320	280	300	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、愛知、茨城、メキシコなどから入荷する。愛知はトマトなどへの品目転換により栽培面積が大幅に減少している。国内産は若干の前倒し傾向で、平年並の生育となっている。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。						
す	26年	2,607	198	227	208	168	愛知 50%
	27年	2,403	185	228	187	152	熊本 26%
	28年	2,253	192	229	190	167	鳥取 11%
	29年	2,468	188	215	172	175	和歌山 7%
	30年	2,208	190	190	188	193	石川 4%
	5カ年平均	2,388	191	218	189	171	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	元年見通し	2,200	190	190	190	190	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に鳥取などからも入荷する。生育状況は良好で、前進した前年に比べると遅いが、平年より早い入荷が予想される。各産地ともに前年並の入荷量が見込まれ、順調な入荷となる見通し。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	29,458	416	385	420	440	茨城 18%
	27年	30,811	425	425	434	416	千葉 15%
	28年	29,889	443	446	455	430	熊本 10%
	29年	29,766	432	405	433	458	フィリピン 9%
	30年	28,251	472	418	485	506	青森 8%
	5ヵ年平均 元年見通し	29,635 28,500	437 440	— —	— —	— —	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心におうとう、ももなどが入荷する。全体的に4～5月の曇天と低温で生育が遅れるも、平年比ではやや早いか。下旬にももやすいかのピークが来ることもあり、後半に向けて増量傾向。入荷量は前年並となり、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。						
その他メロン（アールスメロン以外）	26年	5,407	340	359	342	319	茨城 74%
	27年	5,293	335	424	351	252	千葉 13%
	28年	4,788	375	420	369	336	熊本 7%
	29年	4,441	384	426	383	362	メキシコ 3%
	30年	4,382	371	385	381	375	山形 1%
	5ヵ年平均 元年見通し	4,862 4,400	359 360	403 380	365 360	329 340	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	クインシー、アンデスは茨城、タカミは茨城、千葉中心に入荷する。生育は4～5月の天候により一時的に遅れたが平年並。果実肥大も平年並で、入荷は安定するか。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回るも平年並の見込み。						
す	26年	9,471	212	233	216	189	千葉 39%
	27年	10,346	194	245	191	154	茨城 19%
	28年	10,462	197	229	194	175	熊本 19%
	29年	10,759	206	239	195	184	鳥取 13%
	30年	9,055	214	212	211	217	群馬 5%
	5ヵ年平均 元年見通し	10,019 9,100	204 210	232 220	201 210	184 200	— —
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	大玉は千葉、熊本を中心に入荷し、鳥取も始まる。小玉は茨城を中心に入荷する。大玉は産地によってピークが異なるものの、全体として中旬以降の増加を見込む。小玉は茨城が上旬にピークとなる。入荷量と価格はともに前年並の見込み。						

# 切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月1日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	26年	1,673	42	
		27年	1,789	39	
		28年	1,531	52	
		29年	1,798	38	
		30年	1,599	42	
	5ヶ年平均		1,678	42	
	元年見通し		1,600	42	
概要	愛知、三重を中心に入荷する。高冷地産の出荷も始まり、夏菊が中心となる。業務主体の相場展開。				
小 ぎ	実績	26年	1,327	31	
		27年	1,461	21	
		28年	1,400	25	
		29年	1,401	22	
		30年	1,260	29	
	5ヶ年平均		1,370	25	
	元年見通し		1,250	30	
概要	愛知、奈良、埼玉などから入荷する。夏秋期産地の入荷が始まり、産地構成も変わってくる。出回りはそう多くないが、小売りの動きも強くはない。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	1,037	41	
		27年	942	49	
		28年	964	43	
		29年	1,070	41	
		30年	1,123	40	
	5ヶ年平均		1,027	43	
	元年見通し		1,050	42	
概要	長野を中心に愛知、岐阜、三重、和歌山から入荷する。今年は全体的に生育順調でやや前進傾向。前進傾向から高冷地のリレーはスムーズで、若干スプレーに切れ間が出る時がある。				
か す み	実績	26年	147	73	
		27年	127	86	
		28年	130	82	
		29年	105	93	
		30年	126	89	
	5ヶ年平均		127	84	
	元年見通し		115	90	
概要	長野中心の出荷で、中旬から福島産が入荷する予定。前半は暖地物が少ないものの出荷はあるが、気温の上昇で品質に不安がある。高冷地産では全体的に数量が足りない。業務中心の販売で価格はやや高め。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	401	117	
		27年	355	141	
		28年	357	122	
		29年	340	143	
		30年	325	133	
	5ヶ年平均	356	131		
元年見通し	330	135			
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道が日ごとに増加してくる。暖地産も中旬までは出荷がある見込み。LAは埼玉中心、鉄砲は高知、岐阜からの入荷となり、数量はやや少ないが一般需要も少なく、ゆり全体として販売は厳しい。</p>				
洋らん	実績	26年	367	90	
		27年	319	99	
		28年	369	77	
		29年	330	89	
		30年	357	76	
	5ヶ年平均	348	86		
元年見通し	350	80			
概要	<p>鹿児島、愛知、静岡、輸入物が入荷する。輸入物、特にデンファレ等は品薄になると思われる。シンビジウムも国産品が落ち着き、輸入品に移行する。</p>				
ばら	実績	26年	1,000	69	
		27年	969	71	
		28年	908	71	
		29年	918	74	
		30年	990	72	
	5ヶ年平均	957	72		
元年見通し	930	72			
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。平年より気温が高く、雨が少ないため、品質低下や病害虫の発生が懸念される。入荷はやや少なめと思われるが、ブライダル引き合いもあまり期待できない。</p>				
枝も	実績	26年	1,472	42	
		27年	1,375	45	
		28年	1,314	45	
		29年	1,423	46	
		30年	1,337	46	
	5ヶ年平均	1,384	45		
元年見通し	1,300	46			
概要	<p>長野、岐阜中心に入荷する。5月の不安定な天気の影響による被害も多く発生し、やや少なめ。人気商材は堅調な動きとなる見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	26年	25,526	922	
		27年	22,928	997	
		28年	19,003	1,014	
		29年	18,392	1,017	
		30年	18,915	963	
	5ヶ年平均		20,953	979	
	元年見通し		18,500	960	
概要	<p>入荷量はわずかに減少するか。作付けに大きな変更はなく、4号と6号サイズが主体でMIXでの入荷が多い。色別では赤・ピンク・白が主体で特殊な色は少ないと思われる。前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(90.0%)、2位長崎(5.4%)、3位岐阜(1.1%)となっている。</p>				
フ ァ レ ノ プ シ ス	実 績	26年	26,025	3,164	
		27年	26,347	3,078	
		28年	23,804	3,360	
		29年	23,351	3,474	
		30年	24,258	2,710	
	5ヶ年平均		24,757	3,153	
	元年見通し		24,000	2,708	
概要	<p>入荷量は前年並か。大輪は贈答用の需要も少なく、前年の価格も厳しい。梅雨時期のためか、室内に比較的容易に飾れるミディー系の需要はあるとみられる。大輪の需要は6月下旬の株主総会のタイミングにあると予想される。前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(52.5%)、2位静岡(8.5%)、3位宮崎(6.3%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	26年	40,149	168	
		27年	26,664	225	
		28年	28,991	160	
		29年	27,758	162	
		30年	20,283	129	
	5ヶ年平均		28,769	170	
	元年見通し		21,000	125	
概要	<p>入荷量は前年並かやや増加する見込み。需要期も一段落して、小鉢中心の入荷になってくる。温度上昇に伴い花持ちが短くなるので、固めの出荷をお願いしたい。前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(47.7%)、2位愛知(23.5%)、3位愛媛(21.7%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	26年	66,926	560	
		27年	60,498	478	
		28年	60,623	478	
		29年	72,862	500	
		30年	53,206	524	
	5ヶ年平均		62,823	508	
	元年見通し		53,000	520	
概要	<p>入荷量は前年並か。中旬までは潤沢な見通しで、玉咲きあじさい中心に入荷が多くなると思われる。近年は花持ちの良いマジカルシリーズの生産が増えており、引合いも強まってきている。8号鉢以上の大きいサイズも入荷が増える見込み。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(35.1%)、2位岐阜(31.5%)、3位三重(29.7%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	26年	17,743	324	
		27年	21,235	269	
		28年	7,877	392	
		29年	12,557	291	
		30年	8,058	340	
	5ヶ年平均		13,494	310	
	元年見通し		12,000	280	
概要	<p>入荷量は前年より大幅に増加するか。平均価格は前年より大幅に下がる見込み。近年、大きいサイズ(6号以上)は生産量が減少し、3号～4号メインの生産となり、単価面でも生産サイズが小さくなるために、自然と平均単価は下がる見込み。前年同様、3号は三重中心、愛知と岐阜は5号以上の出荷となる。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(35.1%)、2位岐阜(31.5%)、3位三重(29.7%)となっている。</p>				
ドラセナ	実績	26年	41,480	753	
		27年	31,934	736	
		28年	25,529	744	
		29年	29,746	655	
		30年	21,231	734	
	5ヶ年平均		29,984	726	
	元年見通し		20,000	730	
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少するか。愛知が主要産地で入荷も多いと思われるが、輸入原木の減少とドラセナ類以外への作付け変更などもあり、サイズも8号以上は生産が減少傾向である。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(63.9%)、2位沖縄(10.9%)、3位三重(9.1%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.552  
令和元年6月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434